

【授業改善推進プラン 6年 国語】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○学習意欲の個人差が大きい。○読書に意欲的に取り組む児童が多い。○読解力に課題があり、文章を正しく読み取ることが難しい児童がいる。○漢字や語彙を正しく身に付けていない児童がいる。○目的や意図に応じて話す力に課題がある。○書くことに対する苦手意識が強い児童がいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○児童の意欲を継続させることが難しい。○個に応じた指導を展開することが難しい。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○児童の興味をひく導入の工夫をする。○必要感を感じさせ、本気で取り組むことができる授業展開を工夫する。○漢字テストを週に1回以上実施する。○「書く力」を育成することが中心の学習においては、スモールステップで取り組ませるようにする。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○文章中の主語、述語、目的語、指示語などを確認する。○表現（アウトプット）の場면을大切に指導する。

【授業改善推進プラン 6年 社会】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○意欲的に学習に取り組む児童が多い。○事実と考えを分けて資料を読み取ることができる児童が多い。○ノートに自己の考えや調べたことを分かりやすく記述できる児童が多い。○友達と話し合いながら、考えを整理したり、まとめたりすることができる。○知識の量や意欲に差がある。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○指導が単調になりがちである。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○身に付けさせたい資質・能力の重点化を図り、児童と共に共有することで「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」をバランスよく身に付ける。○シミュレーション活動や体験的な活動を積極的に取り入れる。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○分からない言葉は辞書を引いて調べさせるようにする。○自分の考えと他者の考えを比較する場面を積極的に取り入れる。

【授業改善推進プラン 6年 算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○資質・能力の個人差が非常に大きい。 ○自己の考えを、図や言葉を使って分かりやすく書き表したり、説明したりすることに課題が見られる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導において、個人差にあわせた指導を更に追究していく必要がある。 ○思考力、判断力、表現力などを高める指導方法を更に工夫する必要がある。 ○導入場面の工夫などを通して、意欲を高める指導を更に追究する必要がある。 ○既習事項を活用し課題を解決する授業の工夫が不十分である。 ○問題の解き方をわかりやすく子どもが説明できるようにする手だてが不足している。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導におけるグループ編制も含め、より子どもの実態に即した授業を行う。また、大胆に重点化を図り、ねらいを絞った学習過程を心がける。 ○授業の初めの問題を工夫し、子どもの意欲を高める。 ○文章題の内容を図や絵、数直線などに表し、立式につなげるように指導する。 ○問題解決において、既習事項をどのように活用すればよいか見通しをもたせる。 ○個人差に応じるためのワークシートやヒントカードなどを用意する。 ○小グループで互いに教え合う活動を積極的に取り入れる。 ○ノートのかき方や発言の仕方などよいものを大いに認め励まし、全体に広げるように指導する。 ○基本的な四則演算や作図などの能力が身に付いていない児童においては、家庭学習で繰り返し取り組むようにさせる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を一人一人が考えた後、解決法を書いたノートを子ども同士で読み合う時間を設け、他の子どもが考えた解決法を読み取る力を伸ばす。 ○問題の解き方を発表する際、初めに子どもの解き方を黒板に記す。それを発表させる前にどのように解決したのか考える時間を設け、読み解く力を伸ばす。

【授業改善推進プラン 6年 理科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察に対して、特に意欲的である。 ○結果を正しく記録することや、結果から考察することに対して意欲が減退する場面が見られる。 ○正しい知識を獲得できていない児童がいる。 ○植物や生き物に対する興味が高い児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人に実感を伴った理解促す必要がある。 ○正しい知識を獲得・定着させる必要がある。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察を通して、実感を伴った理解を促すことを大切にする。そのために、なるべく少人数で実験・観察できるよう、実験・観察方法を工夫する。 ○実験器具などの準備を事前に行ったり、デジタル教材を使用して実験の方法を伝えたりするなど学習展開を工夫することで、学習時間を十分確保する。 ○結果を記録したり、結果から考察したりする場面においては、一人一人が取り組む時間を確保する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人が教科書をしっかり読み取る時間を確保する。 ○実験方法や実験結果を、図を用いて表すようにする。

【授業改善推進プラン 6年 音楽】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に活動し、授業規律も定着しつつある。 ○曲想と音楽の特徴との関わりを意識して表現したり音楽を聴いたりすることに課題がある。 ○自分の考えや、友だちの意見を取り入れながら、主体的・協働的に学ぶ姿がみられる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。 ○表現活動に一部制約があるため、自分の出している音に集中したり、友達と音を合わせたりする場面が少ない。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中に習得できない技能は、補助プリントや休み時間を利用して補習を行う。 ○屋上などの野外を利用したり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し、歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。 ○曲想と音楽の特徴との関わりを意識できるように楽譜に注目させたり、参考となる鑑賞曲を鑑賞したりする活動を行う。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を聴いて聴き取ったことや感じ取ったこととの関りについて考え、よさや面白さ、美しさなどの感じ取ったことを言語化することができるように指導する。 ○児童が感じ取ったことを生み出している音楽の特徴に目を向けることができるように、児童の発言を聴き取ったことと感じ取ったことに整理して板書したり、特徴的な部分を聴いて確かめたり、イメージを表す言葉を掲示したりする。

【授業改善推進プラン 6年 図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平面、立体に限らず、図工に対する意欲は高く、主体的に活動に取り組む児童が多く、休み時間に自主的に図工の活動を行う児童も多い。 ○お互いを認め合う雰囲気があり、互いの作品や活動を肯定的に鑑賞したり、工具なども安心して使ったりすることができている。 ○既習の知識や技能の定着に児童間で差があるので、思いついたことを表すことに苦戦する児童もいる。また、発想するイメージが毎回同じものになったり、すぐに思いつかない児童もいる。 ○彫刻刀の学習経験がない。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○技能の定着が十分ではない児童に向けた、より効果的な個別の指導の技術や言葉かけをしていく必要がある。 ○児童の発想力を高めることができるような声かけや授業の設定をする必要がある。 ○表現活動に一部制約があるため、造形遊びなどの共同的な学習の体験が十分ではない。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が既習の技術を自分から作品に取り入れ、反復して技能を定着できるように、全体指導の中で過去の題材の振り返りを行ったり、常時見返すことができるような掲示を行ったりする。 ○新型コロナウイルス感染症対策や感染数などの状況を見極めながら、予定している単元を組み替えながら、造形遊びなどの学習活動を行っていく。 ○学年の実態に合わせた彫刻刀を使った版画の活動を行う。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートの文章を読んで、どんな活動をするのか理解したり、そこから想像を膨らませて発想に繋げたりする活動を行った。 ○毎回の授業の中で、本時のめあて、本時にがんばったこと・わかったこと、次回の授業に向けての3点を書いたり、定期的に振り返って読む活動を行ったりしている。

【授業改善推進プラン 6年 家庭科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○裁縫において、技能の定着までに時間がかかる児童がいる。 ○調理において、高い興味・関心をもって取り組んでいる児童が多い。 ○片付けにおいて、目的感をもって取り組める児童とそうでない児童との差が大きくなっている。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1学級あたりの児童数が多いため、裁縫など個々人の進捗状況に合わせた指導をすることが難しい。 ○家庭科室にICT機器が導入されていないため、手元を見せたいときや動画を使った指導をすることが難しい。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者ボランティアの協力により、個人のみつまづきを支援する。 ○児童同士の学び合いを積極的に行わせ、技能を高められるようにする。 ○担任と専科で協力し合い、少人数で学習できるような学習形態にできないか検討する。 ○イラストや実演など、視覚的な支援を充実させる。 ○説明は自教室、作業は家庭科室で分けるなど環境を最大限活用し、児童の理解と集中力をどちらも高められるようにする。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。 ○これまでの経験や共通体験を、新たな裁縫の作品作りや調理実習に生かすことができるよう意識して指導する。 ○教科書を使って学習する際に、文章と写真を対応させながら、文章の内容を理解できるようにする。

【授業改善推進プラン 6年 体育】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○高い意欲・関心をもって取り組んでいる児童が多い。○めあてをもって学ぶことができるようになってきている。○互いに見合ったり教え合ったりすることに課題が見られる。○基本的な技能の定着に課題が見られる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○運動が苦手な児童に対する手だてが不足している。○基礎的な技能を定着させられるような手だてが不足している。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○スモールステップで技能を身に付けられる場や時間を設定する。○学習カードや資料、学習展開や学習形態を工夫することで、見合ったり教え合ったりすることができるようにしていく。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○保健の教科書を読み解く際に、内容が正しく理解できるよう指導に当たる。○技能ポイントなどを記した資料を子どもたちに配布し、イメージをもって運動に取り組むことができるよう図や動きなどを取り入れた資料を工夫して作成する。

【授業改善推進プラン 6年 総合的な学習の時間】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入場面においては、比較的意欲的であるが、単元を通して粘り強く取り組むことができない児童もいる。 ○少人数で協力して話し合うことができる児童が多い。 ○調べたことや考えたことを堂々と表現することに課題が見られる。 ○課題解決に向けたツールとして、図書資料を活用することができていきている。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を通して児童の意欲を持続させる手だてを検討する必要がある。 ○思考力や表現力を高めるための手だてを検討する必要がある。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して、「自分と身近な問題である」と捉えさせる導入の工夫をしていくとともに、単元全体を児童にとって必要感のある内容にしていく。 ○必要に応じて思考ツールやICTを活用する。 ○さまざまな発表方法や発表形態を経験させることを通して、表現力を育成していく。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○必要感のあるテーマ設定をすることで、主体的に読んだり書いたり話したりできるようにしていく。 ○ワークシートなどに自己の考えを書く際、主語、述語、目的語を意識して書くことができるようにする。

【授業改善推進プラン、6年 外国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○7割ほどの児童が、アルファベット26文字の識別、大文字と小文字を区別する力が身に付いている。 ○單元ごとの題材に関して、自分事に置き換えて外国語表現を使おうとする態度が身に付いてきている。 ○発音に関して、慣れ親しもうと意欲的に取り組む児童とそうでない児童とで二極化が見られる。 ○語順に関して、日本語との違いに気付かず混乱してしまう場面がある。 ○外国語に対する苦手意識を、すでにもっている児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校での英語学習に結びつけられるよう、教員の指導力を高めていく必要がある。 ○苦手意識を少しでも緩和しようと、チーム対抗のゲームなどの学習活動を取り入れた際、勝つことに躍起になるなどして活動自体が目的化してしまい、外国語表現の習得や表現力を高めることに結びつかないことがあった。 ○ALTとより連携を図る必要がある。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベットカードを用いたクイズやゲームなどの取り組みを、毎時間の最初に帯活動として取り入れる。 ○苦手な児童も安心して取り組むことができるよう、ヒントカードなどの補助教材を用意したり、少人数で取り組む機会を増やしたりする。 ○長期休み中に学期ごとの大まかな授業構想を提示し、ALTとの連携を図る。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。 ○主語の違い(I/You/He/She)による動詞の変化に気付かせる。また、日本との語順の違いに気付かせる。 ○「It」が指し示す意味を確認する。 ○リスニング学習の中で意味を確認し、外国語表現と日本語を一致して理解できるようにする。 ○絵カードを使い、単語の意味を理解できているか確認する。 ○例文に使われている表現を活用して作文に取り組み、理解を深められるようにする。

【授業改善推進プラン、6年 特別の教科 道徳】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○道徳的価値について、理解できている児童が多い。○授業の場面で自己の生き方と結び付けている児童が多い。○実践しようとする意欲はあるが、その意欲が継続しない児童も多い。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○読み物教材の活用を中心としているため、指導が単調になりがちである。○自分事として真剣に向き合うような展開を工夫する必要がある。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○多様な資料や学習活動を工夫する。○展開後段の指導の充実を図る。少人数での話し合いを積極的に取り入れ、全員が主体的に参加できるようにする。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。○読み物資料を扱う際には、児童が自分で読むようにする。その際、内容をしっかり理解させるために、あらすじについては、教師から提示する。